

平成24年7月2日

各関係機関長 殿

名古屋大学大学院国際言語文化研究科長
前野みち子（公印省略）

教員の公募（再公募）について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、下記の要領により教員の公募を行うこととなりました。

つきましては、ご多用中まことに恐縮ですが、関係各位にご周知いただくとともに、適任者がございましたら、ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 職 名 准教授または専任講師
2. 採用人員 1名
3. 担当科目 本研究科国際多元文化専攻メディアプロフェッショナル論講座の授業科目及び全学教育科目（英語、学部1～2年生対象）
4. 研究分野 メディア研究
5. 所 属 名古屋大学大学院国際言語文化研究科国際多元文化専攻
6. 採用時期 平成25年4月1日
7. 応募資格 (1) 博士の学位を有する方（学位取得見込みを含む）、あるいは同等の業績を有する方
(2) 「メディア研究概論」と専門を活かしたメディア研究応用科目（備考欄参照）を担当できる方
(3) 産学社会連携の主旨（講座HPを参照）を十分に理解して当講座の運営に積極的に関わり、率先してアイデアを提供できる方
(4) 国籍は問わないが、授業運営や学内業務遂行に支障のない日本語運用能力を有する方
8. 提出書類 (1) 履歴書1通（様式自由、写真貼付、メールアドレス記載）
(2) 研究業績一覧表1通（A4判で、公刊された著書、論文、コンテンツの発表実績など、全業績について題目・発表年月・掲載誌名・巻号数・ページ数を記載のこと）
(3) 教育業績一覧表1通（専門教育、語学教育のそれぞれについて、授業担当等に関して詳細に記載すること）
(4) 主要研究業績3点（抜刷り、コピー可。3点のうち1点は英語による論文を提出。またA4判で400字程度の日本語の要旨をそれぞれに添えること）
(5) 大学院教育（メディアプロフェッショナル論講座）への抱負（日本語で2,000字程度）
(6) 英語運用能力を示す検定試験のスコアがあれば提出のこと

応募書類によって取得した個人情報、本教員選考の目的以外で利用したり、外部に提供したりすることはありません。

9. 応募締切 平成24年8月31日（金）（必着）
10. 選考方法 第1次選考 書類・業績審査、第2次選考 面接（交通費は自己負担）
11. 提出先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-5(700)
名古屋大学文系総務課国際言語文化研究科担当（電話 052-789-5312）
<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/>

応募書類は書留郵便とし、「メディアプロフェッショナル論講座教員募集書類在中」と朱書きすること。

12. 照会先 メディアプロフェッショナル論講座 中村登志哉
Tel: 052-789-5326
E-Mail: nakamura@lang.nagoya-u.ac.jp

13. 備考

* メディア研究応用科目について

新任教員に期待することは、ご自身の研究領域が、現在のスタッフがカバーする領域とある程度の共通性

を持ちながら完全に重複することはなく、かつ連携・協力した教育体制を構築することが可能であることです。これを踏まえ、ご担当いただくメディア研究応用科目ではご専門を活かした授業設計をお願いすることになります。

2012年現在のスタッフがカバーする専門領域は、以下の通りです。

- ・国際政治学／ジャーナリズム研究
- ・国際比較放送論
- ・メディア言説分析
- ・社会情報学／社会心理学
- ・教育工学
- ・情報デザイン／映像デザイン

* 名古屋大学大学院国際言語文化研究科では、男女共同参画を推進しています。